

共生・公正・創造  
共生の精神のもとに、心  
とところをつなぎ、次代  
につながる公正な社会を  
創ります。



# JR東日本労働組合 東京地方本部

JR東日本労働組合  
東京地方本部  
東京都千代田区鍛冶町2-11-11  
発行者・福田 高夫 編集者・依田 匡一  
TEL(NTT)03-3251-2191 (JR)057-2292  
FAX(NTT)03-3251-2192 (JR)057-2292



## スローガン 組合員一人ひとりの行動で 安全で安心して働ける職場を作り出し 働く者の拠り所となるJR東日本労働組合を築き上げよう！

## JR東日本労働組合 東京地方本部 第3回定期大会開催！

東京地本は、8月29日田町交通ビルにおいて第3回定期大会を開催しました。

大会には、明け休みの中、50名を超す参加者が結集し熱気の高まった討論が展開され、成功裏に終了しました。



議長を務めていただいた  
西沢代議員

大会は小泉執行副委員長の司会・進行で進められ、大会成立宣言、議事運営委員会の設置のあと、議長に西沢代議員（王子駅）を選出しました。

執行部を代表して福田執行委員長が挨拶に立ち冒頭「今年は、戦後70年と節目の年である。しかし、安部総理は『安全

保障関連法案』を成立させるためになりふり構わず進んでいる。廃案に向け私たちも行動をする」と述べました。さらに①安全確立の取り組み②統一地方選挙 ③組織拡大の取り組み④JR連合加盟問題について問題提起を行いました。（別掲）

続いて、来賓の挨拶では、連合東京須永会長代理、大畑おさむ北区区議、柴田芳金大手町支店長から激励の挨拶を頂きました。

また、本部より、渡辺執行委員長・野上副委員長・各地本からは山口書記長（横浜）・加藤執行委員（八王子）・登坂書記長（大宮）退職者連絡会・中山会長と、多くの激励の挨拶を頂きました。続く、祝電メッセージでは、海江田万里氏から



の祝電が読み上げられました。

その後執行部より、第一号議案「大会延期承認」、第二号議案「2014年度経過報告及び2015年度運動方針」、第三号議案「2014年度決算報告、会計報告」、第四号議案「2015年度予算」、第五号議案「規約改正案」、第六号議案「支部分会体制の変更等」の提起を行い、休憩をはさんで質疑を行いました。質疑応答では、業務問題、組織問題を中心に6名からの発言がありました（別掲）。

その後、地本各部の答弁を行い、総括答弁に入り郷書記長より答弁を行いました（別掲）、各議案が満場一致で承認を受けました。最後に福田執行委員長の団結カンパロウで大会を終了しました。

## 福田執行委員長あいさつ

地方本部執行委員長の福田です。

JR東日本労働組合第3回東京地本定期大会に結集された、大会構成員と傍聴者の皆さんに感謝を申し上げます。また、お忙しいなか激励に駆けつけてくださった、来賓の皆様には厚く御礼を申し上げます。本日お越しの連合東京須永副会長が、次期大会で役職を降りることを聞きました。今更で、私たち労働組合に対して、長年ご指導頂き感謝を述べさせていただきます。

また、個人的にも私と須永副会長とは連合北地区協議会の立ち上げからのお付き合いで、組織が大変な時でも常に私たち組合を理解してくれて、がんばれと励ましをいただきました。心から感謝しています。すこし寂しいですけれど、体に気を付けて今後がんばってください。

今年、戦後70年と節目の年です。私の父親も戦争に行きました。70年たった今、戦争体験を話す人は高齢化し、戦争の記憶がなくなりかけています。

こうした中、安倍総理は「安全保障関連法案」を多くの憲法学者が反対を明言し、国民の多数が反対する中、衆議院で強硬採決し、



現在参議院で論戦が闘われています。私たちは、様々な集会に参加し、廃案に向けて取り組みます。

安全確立の取り組みです。今年、3月14日のダイヤ改正で、上野東京ラインの開業・北陸新幹線開業など華々しくスタートしました。しかし、4月には、山手線電化柱倒壊事故、東北新幹線郡山駅での架線切断など、重大な事故が続いています。こうした事故が多発していることを、労使の共通の課題として重く受けとめて、経営協議会などを通じて、会社により実効性の高い安全対策を講じるように求めています。

今年の統一地方選挙では、東京地本として北区選出の大畑おさむ氏の7選勝利に向けて取り組み、見事当選を勝ち取りました。来年夏には参議員選挙が実施されます。自民党の一強体制と安倍政権への歯止めをかけるべく、民主党勝利に向けた取

り組みを強化します。組織拡大の取り組みと成果についてです。

昨年の本部大会以降8名の仲間が加入されました。東京地本は、日暮里駅で7月2日に勇気ある決断された仲間を向かえることが出来ました。

また、王子駅でエルター終了後も委託で働く仲間、再加入をしていただきました。今後の課題として、JR東日本関連会社で働くプロパー社員の組織拡大が急務であり、本部と連携して組織化に向かって取り組みます。

最後に、JR連合加盟問題についてです。1987年4月1日に国鉄改革が実施されました。新生JR各社が発足し、一方、労働組合は、鉄道労連（のちのJR総連）、鉄産総連、国労などの産別でスタートしました。

1991年にJR総連の独自の組織運営に反発して、西日本、東海、四国、九州がJR連から脱退して、1992年5月18日にJR連合が発足しました。私も結成大会に参加して、民主的な組織として全国産別がようやく出来たことをうれしく思いました。民主化の闘争のときには、全国の仲間が激励を寄せてくれ、共に会社の正門

でピラ配りをしました。しかし、いまだに、東労組の多数を許しています。

私たちは一昨年、JR東日本における新しい民主化の多数を目指すべく、東日本ユニオンを結成しました。しかし、組織統一後のJR連合の対応は、組合が組合員を選別・排除するというものであり、同じ組合員でありながら連合の行事に「参加できる」「参加できない」組合員が存在する状況が今日まで続いています。

こうした状況を打破すべく、7月の本部定期大会において、「JR連合との関係は白紙もどす」「会費納入の凍結」「JR連合の運動への見合わせる」という3項目を決定しました。これからは統一の目的である、東日本におけるJR労働運動の大同団結・一元化に向けて本部・地方・分会が一体になり、組織の強化・拡大に向け、全力で取り組みます。

今大会から、新たなスタートであり、仲間を大切にして、職場の他労組組合員に話しかけて、東日本ユニオンへ加入を呼びかけましょう。

代議員の真摯な討論で、方針への補強していただくようお願いいたします。東京地本執行委員会を代表しての挨拶といたします。



# 郷書記長集約答弁



合計6名の方に意見を頂いた。一年間様々な取り組みをしてきた。しかし、決して十分に職場とのかかわりが出来たとは思っていない。また、すべての職場の皆さんの顔と名前が一致しているわけでもない。組織の力は統一と団結であると挨拶の中で述べられていた。今後、一年間をかけて職場の分会大会に足を運び意見交換をしたい。

## <代議員発言要旨>

### ■豊田代議員（中野電車区）

扶養認定拡大について地本また本部に取り上げていただき感謝する。①業務委託の労働条件がよくない。グループ会社の底上げをしないとイケない。②カフェテリアポインを、義理の親でも利用が出来ないので利用範囲を拡大してほしい。



### ■宇田川代議員（東京車掌区）

将来的には山手車掌連合分会ができると聞いている。現在、東海道・横須賀線に乗務をしているが、隣接する地本にも同じ題材、要求はある。地本も連絡を密にして付き合いを深くしてほしい。



### ■横森代議員（東京通信技術センター）

①立川駅構内でのケーブル火災から連続して火災が発生している。原因については警察・消防で捜査しているが、自然発火とは考えにくい。対策を行っているが、各々の系統でやっているのでは非効率。系統を超えて電気関係として一つになって動ける体制が必要ではないか。



②標準数について。現在は平成13年に実施された電気・設備効率化時の標準数プラスアルファでやっていることになっている。しかし設備投資が増え、耐震補強工事もおこなっているため、全く足りていない。神田～秋葉原間の電化柱倒壊事故があたが、業務の実態は書類に追われて現場を見られない。現場に行けばわかるし、その場で手直しできれば事故の芽を摘むことができる。実態に合った人数を配置してほしい。

### ■須貝代議員（東京総合車両センター）

昨年、田町車両センターの洗いの鉄柵で感電事故があった。会社と交渉した結果、永久絶縁の工事が行われる。仕業、構内の委託の準備が進められているが、詳細がわからないため不安がある。実施時期を明らかにしてほしい。また、委託後の交渉窓口を明らかにしてほしい。



### ■石井代議員（上野車掌区）

昨年4名エルダーに送り出した。現在2名で活動している。分会体制の見直しで、山手車掌区分会になるので早急に立ち上げていきたい。JR連合賃金実態調査を取り組むのであれば、100%達成して意気込みを見せるべき。



### ■濱野代議員（駒込駅）

秋葉原駅まで全委託になる。会社は「利用しやすい駅づくり」と言うが、現在の施策は逆行している。仕事量も増え、きつくてエルダー社員が辞めてしまう。会社はどう思っているのか。



養認定のことについてお礼を頂いた。これは職場に教えていただいた課題だった。職場には、まだ地本が知らない課題が多くあると思う。そして、解決に東京地本の力だけで可能なかといえ、可能とはいえない。本部の力も借りた取り組みを作りながら、また、我々の組合だけではなく、同じJRで、職場で働く仲間と声をかけ働きかけることも必要である。

委託先の労働条件が悪い。エルダーになって賃金が下がり、生活も苦しくなる。また、スリーションサービスのプロパー社員は契約社員より賃金が3万円も高い。雇用条件が異なる人たちで一つの職場を運営していく苦勞は計り知れない。様々な雇用条件をどうリアライズするか。JR春闘の再構築の課題である。本部と共に意見交換をしながら作り出していく。

会社はサリーステンパーワンを目指すという。サリースと業務委託の施策の関係を支社に問うと、それは「別次元です」という。細い事故が多い。多くの課題はあるが、一つ一つが重要な取り組みである。安全は生活していくうえで大変な課題である。職場、地方本部で何が出来るのか職場の皆さんと意見交換を重ね取り組みを進めていく。今、安全が脅かされている。細かい事故が多い。

会社は、全ての事故を報告する風土で来たからと言うが、そこから踏み込んで、事故を起こさないために、また、事故が起きた後、どのような体制で回復させるのが重用であるか、提起し議論してきた。今後、課題を克服していくうえで皆さんの力をお借りして東京地本も前進して取り組み。最後に、JR連合との関係で不安があると思うが、JR連合にとって必要なんだと言ってもらえる組織を作り、同じ考えを持つ仲間を増やしていく。そのためには分会体制作りをサポートできるように取り組んでいく。

## 大会宣言

私たちJR東日本労働組合東京地方本部は、本日、「田町交通ビル」において第3回定期大会を開催し定期委員会以降の取り組みの総括と、今後1年間の方針を満場一致で確認した。

私たち東京地方本部は昨年の大会以降、全組合員で職場からの運動を進めてきた。

日頃の地道な活動がついに実を結び、7月2日、日暮里駅で東労組から組織拡大を勝ち取ることができた。私たちは職場の運動を第一に、「仲間を想い、仲間のために、仲間と共に行動する」運動を通して、JRで働く全ての労働者に信頼される労働組合をつくり出してきたことを全組合員で再認識しようではないか。組織拡大をすべく全組合員で総行動を実践しよう。JR東日本全域に伝わってきた証拠でもあることを確認しようではないか。2015春闘は4月1日、経営側から平均賃上げ2,229円という回答が提示された。この間、私たちは、「春闘を全組合員で闘い、要求満額をかちとろう」という強靱な意志のもと、全組合員の行動をもって闘ってきた。しかし、回答内容やベアの位置づけなど大きな課題を残した。さらに、回答時期に至っては日本経済全体に影響力を持つ企業として、景気回復に向けた責任を放棄したとも言える情けない対応であった。

2016春闘にむけて要求段階から闘いの組み立てなど、労組の垣根を越えた連帯と交流で、JR春闘の再構築にむけ、満額獲得の取り組みを強化していこう。そのためには、組合員を置き去りにした旧国鉄時代からの負の遺産である「差別」「選別」「排除」という考えを捨て去り、JRで働く労働者の結集が急がれている。そのためにも、私達はJR連合の民主化闘争などの方針については全面的に支持し、職場でもJR連合の旗を守り続け、さらには組織拡大に奮闘している。しかし、JR連合は再加盟申請に対し「保留」という態度を続けている。このようなハッキリしない態度については良しとせず、私達は本部の方針を支持する。今こそ、職場で「何をなすべきか」などを徹底的に多くの働く仲間と議論、行動して行こう。労働組合の第一義である「安全の確立」「労働条件の向上」に向け、気持ちを一つにして「否定的な現実」を乗り越えるべく前進していこうではないか。

以上宣言する。

2015年8月29日  
JR東日本労働組合東京地方本部  
第3回定期大会

## 車内急病人救護で感謝状を授与される

### 東京駅・中村民雄さん

東京地本前執行委員長の中村民雄さんが、幹線乗車中に人命救助を行い、その勇気と決断力のある行動に対して各方面から感謝状が贈られました。

7月31日、私用で北陸新幹線に乗車し車内を移動していたところ、乗客の「この人何か様子が変わります」という声を耳にした。近寄り声を掛け返事が無く意識がなかった。車内に「医者が看護婦さんいませんか」と声をかけたがいなかったため、自分で気道確保と心臓マッサージを行った。その後、駆け付けた連転士に東京駅で救急隊の手配を依頼し、東京駅到着まで心臓マッサージとマウス呼吸を実施した。東京駅到着後、到着した救急隊に引き継いだ。



表彰された  
中村民雄さん

中村さんは救急救命士の資格を持っていた。この人命第一の勇気ある行動に対して、「東京駅長」「JR東日本ステーションサービス」「東京消防庁」から感謝状が贈られた。